

トヨタ車用リアカメラ接続アダプター（ビルトインスイッチ）

AG770CA-TA

取付・取扱説明書



適合表はこちら

本製品はメーカーオプションのパノラマビュー映像を、ピン端子(RCA)で出力するアダプターです。

この度は、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、本書に記載されている内容をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

●製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。●本書の内容は予告なく変更することがあります。●本書の著作権はMSネット株式会社にあります。●本書の一部または全部を無断で使用・複製・転載することを禁止します。●本書に掲載されている会社名や製品名は、各社の商標および登録商標である場合があります。●製品の使用により発生した損害にはいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

ご注意

- 本製品にディーラーオプションや市販のリアカメラは取り付けできません。
- 取り付けナビゲーション(モニター)にリアカメラ入力端子やVTR端子(どちらもピン端子)があることを確認してください。
- 本製品から出力される映像にはリアカメラのガイドラインも画面に表示されます。ナビゲーションのガイドラインと重複する場合にはナビゲーションガイド線を非表示設定してください。
- ナビゲーションによっては、注意喚起メッセージが重複して表示されてしまう場合がございます。
- 必要に応じて、ビデオ延長ケーブル等をご自身でご準備ください。
- 本製品は、日本国内で車検を受けた車両専用設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取付、および日本国外での販売や使用を禁止しています。万が一、日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんのでご理解ください。

【お客様へのお願い】

本製品の取り付け・配線には、専門技術、専門工具と経験が必要です。お買い上げの販売店、もしくは取り付け専門業者での取り付けをおすすめします。

【販売店様へのお願い】

取り付け完了後は、この『取付・取扱説明書』をお客様へお渡しください。お客様へお車を引き渡すとき、この『取付・取扱説明書』をお客様にご覧頂くようにお声掛けをしてください。

1. 安全上の注意 必ずお守りください

こちらに記載された注意事項は、お使いになる方や周囲の方への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。注意事項は誤った取り扱いや使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分けで表示し説明しています。

	危険 「死亡する」または「重傷を負う」ことに直結する危険性が想定されます。
	警告 「死亡する」または「重傷を負う」ことに繋がる可能性が想定されます。
	注意 「傷害を負う」または「物的損害を負う」ことにつながる可能性が想定されます。

お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けで表示し説明します。

	この記号はしななければならない「強制」の内容を示します。
	この記号はしてはいけない「禁止」の内容を示します。
	この記号は気をつけて頂きたい「注意」の内容を示します。

危険

- 本製品は運転時の後退や縦列駐車などお車周囲の安全確認を補助するためのものです。障害物に対する安全を保証するものではありません。お車を運転の際、必ず運転者ご自身で目視等により安全確認をおこなってください。
- 本書に従って、取り付けや配線をおこなってください。違反された場合、弊社は一切の責任を負いません。

- 取り付ける前に、バッテリーのマイナス端子をはずしてください。感電・発煙・発熱・発火の原因となる危険があります。
- 故障・破損した場合、もしくは故障・破損したと思われる場合は、すぐに使用を中止し販売店へ点検・修理依頼をしてください。そのまま使用を続けると、感電・発煙・発熱・発火の原因となる危険があります。
- 本製品は、お車周囲の安全確認補助目的以外のご使用はおやめください。違反された場合について、弊社は一切の責任を負いません。
- 取り付け位置は、安全運転支援システム、運転を妨げる場所、水などが掛かる場所や同乗者に危険を及ぼす場所へ取り付けしないでください。事故の原因や負傷する危険があります。
- 本製品および付属部品はいかなる理由があっても解体・改造をしないでください。感電・発煙・発熱・発火の原因となる危険があります。
- 運転中に本機のスイッチ操作や、モニターを直視しないでください。事故の原因や負傷する危険があります。
- ネジなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込んでしまったときは、ただちに医師へ相談してください。
- 本製品は日本国内で走行可能な車両専用となります。その車両以外への取り付け、および日本国外での販売・使用を禁じております。違反された場合について弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を使用し発生した人身・物損事故、車両故障、損傷等につきまして、弊社は一切の責任を負いません。

警告

- 配線・取り付け・取り外しは、専門業者等に依頼し、必ず付属の部品を使用してください。誤った取り付けにより、運転の妨げにより、事故の原因や負傷するおそれがあります。
- 車両から取り外した部品は確実に元に戻してください。車の機能が正しく動作しないおそれがあります。
- 取り付け状態や配線の状態を定期的に点検してください。故障等により運転の妨げとなり、事故の原因や負傷するおそれがあります。
- ハーネス類は運転の妨げにならないように固定してください。運転の妨げにより、事故の原因や負傷するおそれがあります。
- ハーネスの被覆がない部分は、テープ等で絶縁してください。金属部分と接触ショートして、感電・発煙・発熱・発火の原因となるおそれがあります。
- 取り付け後は、車の電装品の動作確認をおこなってください。感電・発煙・発熱・発火などの原因となるおそれがあります。
- 取り付け時、保安部品(ステアリング、ブレーキ等)のボルト・ナットを絶対に使用しないでください。制動装置不良等、事故の原因や負傷するおそれがあります。
- ハーネスの配線時、金属部や高温部に接触させないでください。ハーネス被覆のダメージとなり、ショートし、感電・発煙・発熱・発火の原因となるおそれがあります。
- 車体に穴をあける場合は、パイプ類・燃料などのタンク類・電気配線などに干渉や接触させないでください。パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となるおそれがあります。
- 本製品の穴やすき間にピンや針金等を入れないでください。感電・発煙・発熱・発火や故障の原因となるおそれがあります。
- 取り付け時に一部のハーネスに加工が必要な場合がございます。本書「接続概要図」をご覧ください。正しく加工をおこなってください。

注意

- 本製品の取り付け前に、ナビゲーションなどの再生機器よりすべてのメディアを取り出してください。取り付け後に誤動作を起こすおそれがあります。
- 本製品が接続されたナビゲーションやモニターなどを点検・修理に出されるときには必ず本製品を取り外してください。本製品を含みアフターパーツ類を取り付けていると、ディーラーによってはメーカー保証を受けられない場合があります。
- ハーネス類は、配線終了後にたるみが無いようにクランプやテープで固定してください。金属部分とハーネス類が接触し、振動等によりすりきれてショートし、火災等の原因となるおそれがあります。
- ハーネス類は、車体やねじ部分、シートレールなど可動する部分にはさまないように配線してください。断線やショートにより、感電・発煙・発熱・発火の原因となるおそれがあります。
- 車体に穴をあけてハーネス類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用してください。金属部分とハーネス類が接触し、振動等によりすりきれてショートし、火災等の原因となるおそれがあります。
- コネクターを外すとき、コネクターの抜け防止のロックを解除し、まっすぐに引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張ると、コネクターや各機器が破損するおそれがあります。
- コネクターは確実に接続してください。機能が正しく動作しないおそれがあります。
- 万が一本製品を落下させたり、強い衝撃を与えてしまった場合は、販売店へ点検・修理を依頼してください。そのままご使用を続けると、感電・発煙・発熱・発火の原因となる危険があります。
- 車載以外の用途に使用しないでください。業務用として長時間使用したり、一般車両以外に使用した場合は保証の対象外となります。
- ハーネス類を引っ張ることは絶対にしないでください。断線や接触不良により、機能が正しく動作しないおそれがあります。
- 適合外の車両に取り付けて発生したクレーム、事故、故障などに関しては、弊社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- バッテリーのマイナス端子を外す前に、ナビゲーションやモニターなどの設定内容をメモしておき、取付完了後に再設定してください。設定方法はそれぞれの機器の取扱説明書をご参照ください。
- 本製品の取り付けのときは、静電気の帯電にご注意ください。静電気の放電によって、本製品や各機器が故障するおそれがあります。
- 各種ネジはゆるまないように、確実に締め付けてください。ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となるおそれがあります。

2. 内容物

ご使用いただく前に、以下の梱包品が揃っているかご確認ください。梱包品に不足や破損等ございましたら、ご使用前に販売店にご連絡ください。

カメラ接続アダプター (1)、カメラ映像変換ハーネス (1)、ビルトインスイッチ (1)、オスギボシ&スリーブ (3)、スイッチハーネス (1)、Eクランプ (1)、結束バンド (3)、両面テープ (1)、取付・取扱説明書 (1)、保証書 (1)

3. 製品仕様

- 電源電圧 : DC12V
- 消費電流 : 最大100mA
- 本体サイズ : W60×H37×D13.5mm
- 生産国 : 日本

4. 取り付け方法

本製品を接続するカメラ用コネクタは、ナビゲーション装着スペースにあります。

- ①バッテリーのマイナス端子を取り外します。
- ②右の接続概要図を参照して本製品の各配線を接続します。
- ③ナビゲーションが動作する状態まで内装を復元して、バッテリーマイナス端子を接続します。
- ④シフトレバーを「R（リバース）」にして、ナビゲーションの画面がカメラ映像に切り替わることを確認してください。
- ⑤「④」の状態ですべての本製品の【ビルトインスイッチ】を押して、カメラ映像パターンが切り替わることを確認してください。
- ⑥「R」以外にシフトを動かしたとき、ナビゲーション画面がリアカメラから他の画面に切り替わることを確認してください。
- ⑦次に車両の【VIEWスイッチ】を押して、ナビゲーションの画面がカメラ映像に切り替わることを確認してください。
- ⑧「⑦」の状態ですべての車両の【VIEWスイッチ】を押して、カメラ映像のパターンが切り替わることを確認してください。
- ⑨取り外したパネル類を元に戻し、取り付け作業は終了です。

ワンポイント

■シフトレバーを「R（リバース）」にしてもリアカメラの映像が表示されない場合は、次の項目を点検してください。

1) 画面がカメラ画面へ切り替わらない場合

- ・ナビゲーションのメニュー項目でバックカメラの設定を再確認してください。
- ・ナビゲーションのバック信号線が本製品のバック信号線(紫黒線)に正しく接続されているか再確認してください。
- ・キーON時にビルトインスイッチが点灯していない場合は、本製品のACCとGNDの接続を再確認してください。

2) 画面がカメラ画面へ切り替わるが、カメラ映像が映らない場合

- ・本製品を接続しているRCA端子はカメラ入力に間違いありませんか？ナビゲーションの取付説明書で端子名称を再確認してください。
- ・ACC-ONでは車両システムが作動しないため、エンジン作動状態で再確認してください。

■リバース時以外にスイッチを押してもフロントカメラの映像が表示されない場合には次の項目を点検してください。

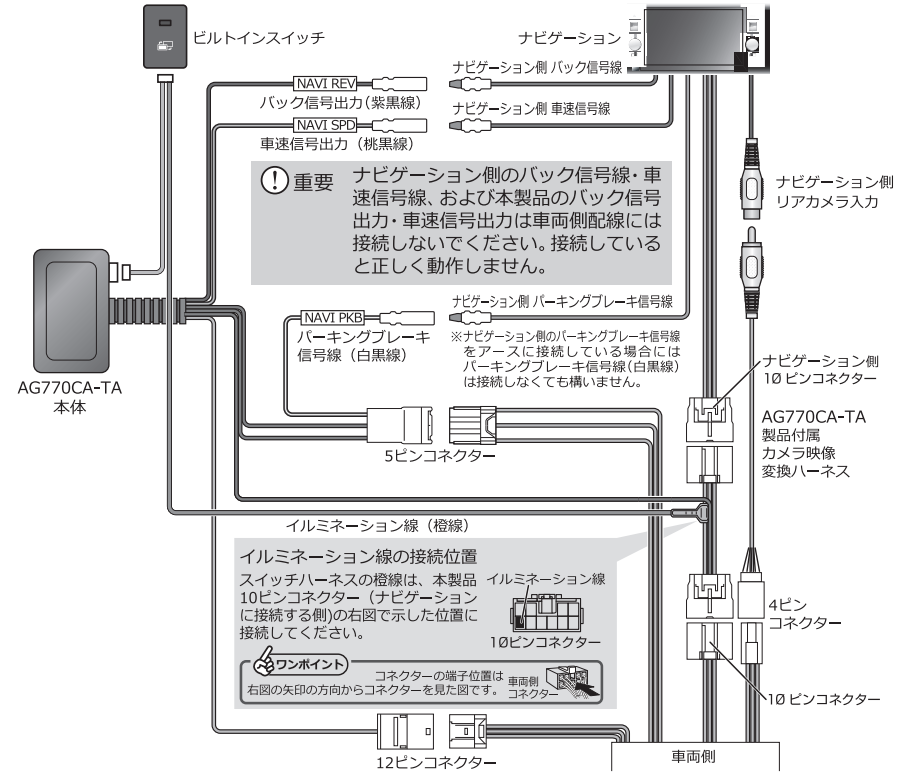
- ・ナビゲーション側のバック信号線・車速信号線、及び本製品のバック信号出力・車速信号出力が車両側配線に接続されていないかを再確認してください。接続されている場合は切り離してください。

5. 接続方法例

重要

本説明書はナビゲーションが装着されていない状態を前提としております。既にナビゲーションが装着されている場合は、ナビゲーションの信号配線(車速・バック・パーキングブレーキ)を外してから作業を行ってください。

接続概要図



注意

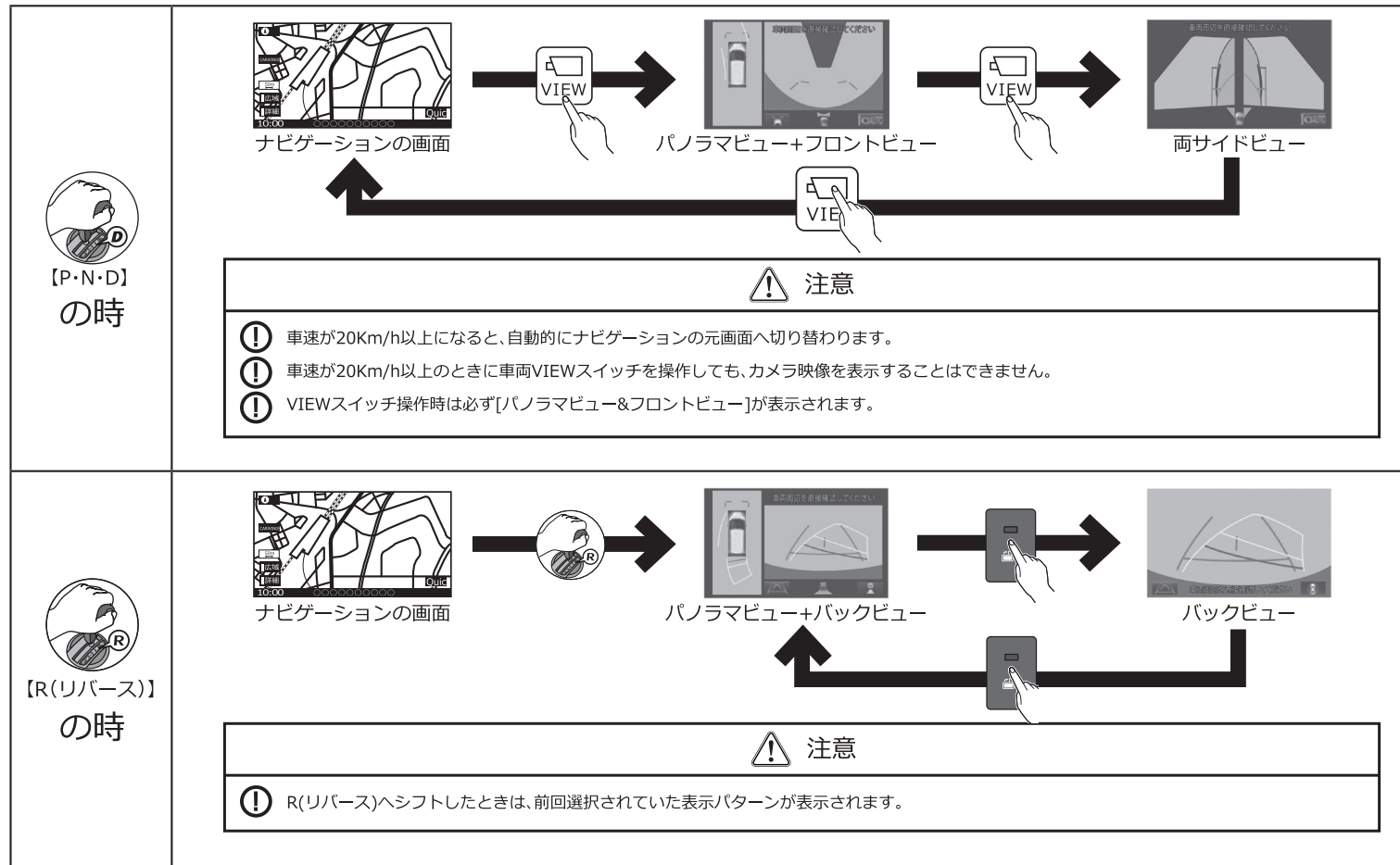
- ① 必要に応じてギボシ端子を取り付けて接続してください。
- ⚠ 装着されるナビゲーションによっては、本製品が作動中に車速に関するエラーメッセージが現れることがあります。
- ⚠ 本製品の動作中は、ナビゲーションの自車位置が不正確になります。これは本製品がナビゲーションへリバース信号を出力し、強制的にリアカメラ画面を表示させている為です。これにより本製品の動作中は車両が後進しているとナビゲーションが誤判断し、画面上の自車位置が不正確になります。そのため、ナビゲーションの目的地案内を使用しているときは、本製品の使用時間を極力短くするようにしてください。なお、不正確になった自車位置は、本製品の動作停止後、ナビゲーションのGPS機能によって補正されます(補正にかかる時間はGPSの受信状況により変わります)。

6. 使用方法

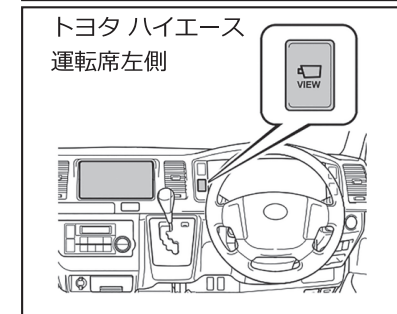
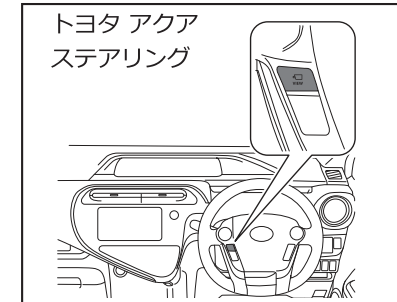
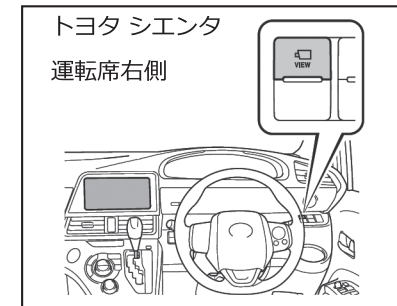
⚠ 注意 条件によって表示されるカメラ映像は異なります。下記をご覧ください。

⚠ 重要

- 本製品から出力される映像にはカメラのガイドラインも表示されます。ナビゲーションのガイド線と重複する場合にはナビゲーションのガイド線を非表示にしてください。ナビゲーションによっては「車両周辺の安全を直接確認してください」などの注意喚起メッセージが重複して表示されたままになる場合がございます。
- ビルトインスイッチのLEDはエンジン始動中は点灯したままになります。
- キーポジションが「ACC」のときはカメラ映像が出力されません。



【車両「VIEWスイッチ装着位置」】

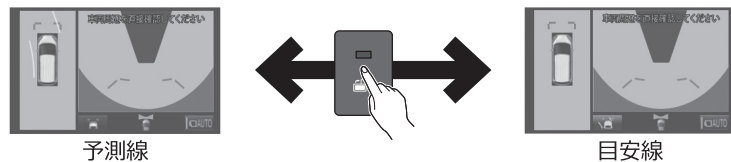


7. 使い方

【P・N・Dのとき】

ガイド線表示を変更する

カメラ映像表示中に製品付属の【ビルトインスイッチ】を押すとガイド線を変更することができます。



- 変更したガイド線は次回以降も記憶されます。
- ガイド線は[パノラビュー+フロントビュー]のみ変更可能です。[両サイドビュー]はガイド線の変更をすることができません。

自動表示モードをON/OFFする

カメラ映像表示中に製品付属のビルトインスイッチを1秒以上長押しすると自動表示モードのON/OFFを変更することができます。

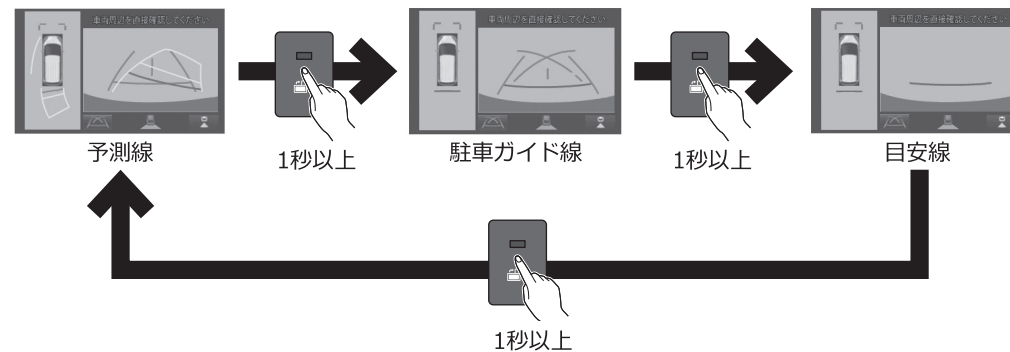


- 変更したON/OFF設定はキーOFF後も記憶されます。
- 自動表示モードは「PレンジからDまたはNレンジへシフトしたとき」または「10Km/h以下まで減速したとき」に自動でパノラミックビュー映像へ切り替える機能です。自動表示されるときは直前の表示パターンが表示されます。

【Rのとき】

ガイド線表示を変更する

カメラ映像表示中に製品付属の【ビルトインスイッチ】を1秒以上長押しするとガイド線を変更することができます。



- 選択したガイド線は次回以降も記憶されます。
- [パノラビュー+フロントビュー]と[リアビュー]のガイド線は同時に変更されます。

8. お問い合わせ先

■発売元

 **MSネット株式会社**
〒351-0012 埼玉県朝霞市栄町4-1-16

お客様窓口 050-3734-7461 URL: msnet.asia
受付時間：月曜日～金曜日10時～12時/13時～17時
(祝祭日、休業日、夏季休暇、年末年始除く)

Elut、ElutロゴマークはMSネット株式会社の登録商標です。QRコードの商標はデンソーウェブの登録商標です。記載の商標及び商品名は各社の商標及び登録商標です。Copyright (C) MSnet Co.,Ltd. 2021年7月